

NPO 法人月と風と

2017 年度活動報告

4月 ■軽茶堂（パンまつり/上映会/子どもとカレー/月イチ/詩）
■へいわえーなー「テラでテロの話」参加 ■個別支援会議～6月

5月 ■軽茶堂（子どもとカレー/プレゼン/書道/お笑い/詩）■支援者飲み会 ■ミーツザ福祉 WS ■定期総会&交流 BBQ ■理事会①

6月 ■軽茶堂（ごはんの友/詩/書道/月イチ）■事業所等交流会 in 園田①
■ひとりちのお風呂① ■サマセミチャリティショップ参加～7月
■理事メンター

7月 ■軽茶堂（100均グッズ/かき氷/詩/書道/ハンサムイングリッシュ）
■リザーBOOM! 銭湯! @第一敷島湯 ■みとりまちカフェ①
■『飯館村の母ちゃんたち』上映会
■障害福祉施策市長懇談会参加
■兵庫事業所交流会⑩～事例実践検討会参加 ■理事会②

8月 ■軽茶堂（アニメーション学院/詩/ペットボトル de 野菜/子どもとカレー/月イチ）■キッサニア
■ひとりちのお風呂②&お泊り会
■竹下猛虎会 ■サマセミ参加
■みんなの尼崎大学『しょうがいのある人に学ぶ、おせっかい』
■みとりまち拡大イベント①&カフェ②

9月 ■軽茶堂（書道/焼きそば/古着アップサイクル/詩）
■ドキュメンタリー映像講座
■学習支援『介護の仕事を伝える』
■みとりまちシネマ

10月 ■ミーツザ福祉 公募ダンス特訓!～11月 ■本人さんトーク
■水辺まつり参加 ■もぐもぐまつり
*中止 ■面談

11月 ■ミーツザ福祉 ■みとりまち拡大イベント② ■そのだいっぴんマルシェ参加 ■理事会③

12月 ■軽茶堂（書道/お好み焼き/月イチ現代美術館/詩）■みとりまちタイ報告会
■兵庫事業所交流会⑪～テーマ別「相談支援って？」参加

1月 ■軽茶堂（書道/新年の会/詩）
■クラブラポールもちつき参加
■YAMINABE ■事業所等交流会 in 園田 vol.2 ■行動援護養成講座～2月
■スーパープレゼン説明会
■へいわえーなー「タイ料理&戦前を学ぶDVD鑑賞①」 ■理事会④

2月 ■軽茶堂（書道/子どもとカレー/ハンサム/月イチ現代美術館/詩）
■チャリティショップMTスタート!～『ふくしのまち園田構想』リリース!! ■スーパープレゼン研修会
■へいわえーなー「まち活 in 園田 vol.3」～3月&「戦前を学ぶDVD鑑賞②」 ■人権兵庫春季学習会～「ともに生きる」参加

3月 ■軽茶堂（書道/お絵描き/詩）
■ひとりちのお風呂③ ■京都アートツアー ■尼崎市総合計画発表会
■尼崎市の財政問題に関する出前講座参加 ■みとりまちカフェ③ ■スーパープレゼン発表&投票 ■伴奏型支援事例発表会参加 ■理事会⑤

「月と風との・・・」

名前の由来

「月」のように、誰かの力を借りてなお、誰かの道を照らしながら
「風」のように、楽し気な音楽を表現していきたい。
最後に、みんなで一緒にという意味で「と」を。

目指すところ

障がいがある人の、制度では満たされないニーズを発掘し、
「ちがいをおもしろがりながら」「一緒に」「ぎゃははと笑い合い」
「ごきげんに暮らせる」社会を実現していきたい

大切にしていること

① 思いを実現するために社会にアプローチする時、「怒り」だけでは続かない。「楽しい」「気楽」「認められる」「やめてもいい」など、いろんな選択肢がある中で、自分なりに進められることを大切にしている。
「小さく」「たくさん」「えらべる」社会の実現のために、今後も NPO にこだわって活動していきたい。

② いろんな人と一緒に活動していくには、「風通しがよく」「モノ言える雰囲気がある」ことが大切。活動や組織運営に置いて、できるだけ小さな声を聞き取れるような仕組みや工夫を意識して取り入れている。

キーワード

- ・おせっかい
- ・ニーズの三歩先
- ・体温が1℃あがる
- ・敷居ひくく
- ・自分らしく
- ・いつでも弱音をはける
- ・助け合い
- ・認め合う
- ・助けてくれる人がそばにいる
- ・誰かが誰かの役に立っている
- ・所有から共有へ

全体総括

2017 年度は、新たな尼崎の知り合いにたくさん出会えた一年でした。

「しょうがいをお持ちの本人さんを含めた様々な立場の人との” 共有体験 ”をしていく」という活動方針のもと、尼崎市の委託事業『ミーツザ福祉』を始め『事業所等交流会 in 園田』『みなくる☆そのだ』『みんなのサマーセミナー』『みとりまち』『スーパープレゼンテーション』『園田子育て支援連絡会』などの実行委員会に名前を連ねつつ、今まで以上に色々な体験をすることができました。

特に『ミーツザ福祉』には様々なしょうがい・立場の方が参加していたので、スタッフ全員で運営にあたりながら、たくさんの人と一緒に工夫・改善を考えられたことは、それぞれの大きな気づきにつながった実感がありました。

また、「collective for children」さん「コトハナ」さん「コープこうべ」さんなど、新しく出会った団体の方からもお声がけいただき、今後につながるような関係性を築くことができたと感じています。

そして何より、月と風とは ” 共生のまち ” をつくる NPO なんだということを、組織内にも周囲にも意識付けができた年でした。

清田 仁之

運 営 面

11月に職員が1人退職。昨年度の登録ヘルパーさんの退職に伴う人手不足の解消もできていないため、未だに新規の利用者さんを断らざるを得ない状況が続いています。「もっとヘルパーがいればもっとお役に立てるのに。」と思う場面の多い下半期でした。

それと同時に、制度に頼らない自主事業としての『チャリティショップ』の次年度オープンを目指して、フリーヘルプさんと一緒にすすめることができ、コープこうべさんの協力も得ながら具体的な動きのできた下半期でもありました。

しかしながら、スタッフ1人1人にかかる負担が軽減されず、かつ、対外的な活動が増える中で、スタッフ間のコミュニケーションの工夫が難しくなった印象もありました。

月と風とのミッション達成を目指すために、いかに業務の偏りを解消しながら、役割分担の工夫をしていけるかが今後の課題です。

財 政 面

経常収益 45,371,476 円 前年対比 110% 予算対比 103%

経常費用 44,778,419 円 前年対比 115% 予算対比 105%

経常増減額 593,057 円 で、比較的安定した状況です。

昨年10月から移動支援給付費の単価が引き下げられたり、職員が退職したことによる介助時間の減少などありましたが、その分、加算や助成金でカバーすることができました。

■ヘルパー状況 *3月実績

2017年 居宅 3,117,412 円 788h (3,956 円/h) 移動 535,240 円 190h (2,817 円/h)

2018年 居宅 2,902,221 円 670h (4,332 円/h) 移動 435,314 円 186h (2,340 円/h)

*利用者数 26人⇒26人(変動なし) *時間数 ▲122.5h *給付総額 ▲315,117 円

■賞与支給状況

<職員>

2016年度 夏季 0.5ヶ月 冬季 1ヶ月 期末 0ヶ月(支給なし)

2017年度 夏季 1ヶ月 冬季 2ヶ月 期末 2ヶ月

<登録ヘルパー>

2016年度 冬季 0.5ヶ月

2017年度 冬季 2ヶ月

ヘルパー派遣事業

2017 年度 活動報告

担当：嶋津・新家

【定款 第5条 1-1、1-2】

法に基づく障害福祉サービス事業、移動支援事業

【ビジョン】

人と人とのしっかり向き合い対話を繰り返し、粹にと
られず本人さんがイキイキして明るい気持ちにな
り、明日が来るのが楽しみになっている状態を目指す

個別支援会議をもとに個別支援計画を作成し、設定されたモニタリング期間に基づき、モニタリング会議や介助者会議を行うことで、前年度より積極的に支援目標の達成にむけて取り組むことができました。また、他事業所との連携の中で手技書を作成したり、「よりよい介助」について話し合う場面が増えた年でもありました。

ただ、計画作成後のスケジュール管理が上手くいかず時期がずれこむものもあったので、今後改善していきたいです。

個別支援計画

■ 「アセスメント」「個別支援会議」「個別支援計画作成」「モニタリング」をスケジュール通り進め、ヘルパー事業担当者でスケジュールの進捗管理をします。

⇒ 計画どおり個別支援会議をへて6月末までに個別支援計画を作成しましたが、その後のスケジュール管理を各担当に任せてしまったため、モニタリングが少しずれ込みました。

■ 登録ヘルパーさんへの個別支援計画内容の共有をします。

⇒ 共有はできましたが、目標達成に向けた支援を意識的に行えなかった場面もありました。今まで以上に話し合えた人もいましたが、全員徹底するまでには至っていません。

■ モニタリング会議後にはフェイスシートを更新し、充実させる1年にします。

⇒ 人手不足により上記2点を計画に沿って進めることに追われてしまい、フェイスシートの更新は手つかずの状態が続いています。

手 技 書

■ 医療的ケアなど専門的な知識が必要な人に対して手技書を作ります。

⇒ 医療的ケアなど専門的な知識が必要な3人の利用者さんの手技書を作成。その他、LINE・行程さん・訪問リハビリのビデオ撮影など、今までの方法にとられず、ケア内容に合ったものを手技書に導入できたことで、新しい情報共有の形も作ることができました。

ヘルパー育成プロジェクト

2017 年度 活動報告

担当：嶋津・新家

【定款 第5条 1-6】

地域福祉に関する研究、情報の収集および提供
ならびに啓発・研究事業

【ビジョン】

多様なニーズに寄り添うために、
ヘルパーの視野を広げ専門性を高める研修を行う

2017 年度は以下の 6 つに取り組みました。

1) 月 1 回の定期的な会議と半期に一回のふりかえりの実施

会議の開催：9回
ふりかえり：2回実施

会議を定期的に行うことができたおかげで、こまめな振り返りが出来て計画に沿った活動が出来たと感じます。しかしながら他プロジェクトや支援に係る会議とのスケジュールの折り合いをつけることが難しく強引に開催した感がありました。

2) 『月末研修会』の開催 年2回

計画の段階で余裕を持って開催出来るよう年2回に設定していたため打ち合わせなど準備に余裕があり、イメージに近い研修が開催できたと感じています。スタッフの意見で希望の多かった本人さんトークの開催など充実した研修が実施できたと実感しております。

10/29：『本人さんトーク』～生まれてから自立まで

※8 名参加

現在 1 人暮らしをしている車イスの利用者さんに生まれてから自立生活までのエピソードを話していただきました。

生い立ちについてや、ヘルパーの制度が無かったころの『介助者』を見つけるためにどのような苦労をしたのかなど様々な話をしてくれました。

1/24：『どんなスタッフになりたい』

※5 名参加

仕事するうえで大事にする価値観を出しその中から上位5つを決め、今自分がすべき仕事を洗い出し、付箋に書きいつまでに何をしないといけないがタスク化してスケジュールを決めるワークを行いました。

今やらないといけない仕事が見える状態にしておき、何をいつまでにやるかはっきりさせておくことで、より一層、スタッフ同士で協力しあって業務を進めることができるイメージを持つことができました。

3)『医療的ケア勉強会』の開催

年 10 回 実施

<目標>

実際に関わっている本人さんの事例から内容を組み立てることで、緊急時の対応、ケアの改善及び意欲的な勉強会への参加が出来る。

他の業務や緊急のケアなどで計画していた月 2 回の開催には至りませんでした。実際に関わる本人さんの事例から内容を組み立てたおかげで前年度よりスタッフが意欲的に参加することが出来ました。またケアの振り返りにもなり具体的な改善にもつなげることができました。

4)『合同研修会』の開催

※ 未実施

他事業所との調整が出来ず開催に至らなかった。

5) 研修費の設定と聴き取りの実施

研修費の設定があまり周知出来ておらず、積極的な参加にはつながらなかったが、もともと、外部研修への参加意欲には個々で大きなバラつきがあり、今年度、聴き取りを実施できたことで「おすすめの研修を紹介してもらえたら参加しやすい」「報告の方法が複数あれば」などの意見もらうことができました。また、それにより、一人一人のニーズが明確になったので、育成プロジェクトの進め方がはっきりしました。

6)『行動援護従業者養成研修』の開催

日 時

- ① 1/28(日) 9:00-17:45
- ② 2/4(日) 9:00-18:45
- ③ 2/11(日) 9:00-19:00

場 所 月と風と事務所

受講者 12 名

日々の記録のつけ方、問題行動と言われる行為の原因の洗い出し、またそれにどのようにアプローチできるのかなどの事例検討のグループディスカッションを行いました。また講座でしか観ることの出来ない本人さんの映像資料なども観ることが出来たこともあり、適切な支援を継続することで本人さんがどれだけ前に進めるのかを認識できる良い講座になりました。

おふろプロジェクト

2017 年度 活動報告

担当：新家

【定款 第5条 1-3】

しょうがい者(児)に対する生活支援事業

【ビジョン】

様々な『おふろ』を中心に、参加した全員の体温が上がる『ホッと』した関係づくりを目指します

2017 年度は、しえあすば(ひとりちのおふろを借りる、ひとりちに泊まる)、貸切銭湯、ミーツ・ザ・福祉での手ぬぐい販売(完売)。と、どれも計画通りすすめることができました。それぞれの参加人数の総数も、新しい人ではないもののほぼ達成できました。

一方で『おふろに入っただけ』『参加しただけ』の印象もありました。どういう思いで参加し、その思いが何らかに変化したのか？交流を促進できたのか？を考える部分が少なかったかと思います。

同時にしょうがいお持ちの本人さんが『ここを話したい、わかってほしい、共感してほしい』との思いにも気づいてもらえるしかけが不足していました。

しえあすば@大永さん宅

6月18日開催 (10名参加)

動物がたくさん居たり子どもの参加も多く、終始賑やかな雰囲気でした。また参加者の方も積極的に本人さんとコミュニケーションをとってくれて、とても楽しい場になりました。今回は女性だけの参加ということもあり入浴に時間がかかってしまう。今後は、もう少し余裕のある時間で開催するなど考慮が必要と感じました。

ミニデイ@第一敷島湯

7月25日開催 (21名参加)

杭瀬にある第一敷島湯のご協力により貸し切りにて開催することが出来ました。桶つみ競争などみんなで協力しあうレクリエーションを通してコミュニケーションが深まり楽しい空間を共有することができた。始まりがドタバタして遅れたり、女性の本人さんの参加が無く、もう少し早い段階での段取りや広報の必要を感じました。

しえあすばお泊り会@清田さん宅

8月26日～27日開催 (6名参加)

一晩一緒に過ごすことで本人さんの好き嫌いやおもしろい所など、今まで知らなかった新たな一面をたくさん知ることができ、より深く本人さんと関わる良い機会になったと思います。

しえあすば@竹澤さん宅

3月4日開催 (13名参加)

お風呂に入る人数も丁度よくゆったりとしたペースで、参加者同士でほっとりと過ごすことができました。参加者の男性がお風呂に入らなかったこともあり、男性同士の交流はあまり出来ませんでした。今後お風呂の場面以外での交流のきっかけづくりにも努めます。

アートプロジェクト

2017 年度 活動報告

担当 : 景山

【定款 第5条 1-4】

文化・芸術を通じたしよがい者(児)の社会参画推進事業

【ビジョン】

アート作品を通じた色んな人との「おもしろがりラリー」の中で自分らしさを出し、日常がちょっと楽しくなる活動をする

2017 年度は月イチ現代美術館を主軸に、より様々な立場の人と表現の共有体験をしその人らしさを知る・認め合うことを面白いと思える活動を中心に行ってきました。

全体的には計画通りに進み、継続的に関わってくれる人が3人増えたり、外部との関わりが増えたり、活動の幅が広がりました。特に、外部に依頼したテキスタイルのデザイナーの方からは面白がって作成して頂けました。

月イチ現代美術館

<目標>

2ヶ月に1回 計5回開催

幅広い世代への広報

グッズ化のための作品募集

継続的な関係を持てる人4人増

2017 年度 開催実績

4月	「かお」展	13名参加
6月	「かさ」展	18名参加
8月	「あつい」展	15名参加
12月	「まつ」展	25名参加
2月	「いちに」展	14名参加

計画の予定通りミーツ・ザ・福祉の開催月を除き2か月に一度開催いたしました。

回を重ねることに進行を徐々に変更していき、参加者同士が互いの表現の共有体験ができる場になってきたように思います。参加者には、こちらが予想外の表現作品を発表される方がおり、良いか悪いかではなくその表現を互いに面白いと思う雰囲気が、みなさんの力で作りあげられたかと思います。

いつも当日にパフォーマンス系の表現をする利用者さんが初めて事前に描いた絵を発表されたり、初対面の参加者同士の即興パフォーマンスがいきなり始まったりなどがありました。

また、自閉傾向が強く大勢の中に加わるのが苦手な利用者さんも、会場の中には入って来なかったものの、自分の作品を披露したいと作品を持って来てくれたりもしました。

こうした活動を通し、目標としていた継続的な関係を持てる人を3人増やすことができました。

映像勉強会

<目標>

連続的な講座を年3回開催

9月17日 開催

参加者 7名

講師 戸田ひかる

(映像監督)

利用者さん本人のアーカイブとして、又、点ではなく線で表現できる方法として映像を使っていきたいと考え、映像勉強会を開催しました。

ドキュメンタリー映像監督の戸田ひかるさんを講師に迎え映像の撮り方を学びました。

当初、上手く撮影する方法やコツなどを学ぶ予定でしたが、打合せの段階で「良い映像を撮るには相手との信頼関係が重要」ということをお聞きし、撮影者が「何を撮りたいのか」をはっきりさせていく工程を学び、その後、参加者同士ペアを組んでインタビュー動画を撮影しました。

助成金の申請

助成名：社会貢献助成 助成団体：一般財団法人文化振興財団

助成期間：2017年6月～2018年3月

プログラム名：『300と1日かけてみんなでつくる、しょうがい者テキスタイル！』

『月イチ現代美術館』を継続的に安心して運営していけるように、また、集まった作品がより多く方の目に触れるようグッズ化する為の資金として、2つの助成金の申請を行いました。その内、一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団の申請が通りました。

月イチに、より多くの方に作品作りをして頂く為の画材・ミシン・額縁を購入し、テキスタイル制作を外部協力者へ依頼し打合せを4回実施。3月には、作品作りのヒントを得てもらうための『京都しょうがい者アートツアー』も開催しました。

これにより、いろいろな形に展開していけるテキスタイルが完成しました。

3月の京都ツアーでは、アールブリット作品を展示してあるギャラリーや、就労支援の肉まん屋、チョコレート屋、雑貨屋などを訪問。普段、移動支援や身体介護の限られた時間しかわからない利用者さんの様子を、宿泊などを通して見る事ができました。

また、テキスタイル制作全体を通して、外部との関わりが増えたことで活動の幅が広がりました。

ちいきづくりプロジェクト

2017 年度 活動報告

担当 : 嶋津

【定款 第5条 1-4、1-5、1-6】

文化・芸術を通じたしょうがい者(児)の社会参画推進事業、しょうがい者(児)及び地域福祉の政策に関する提言事業、地域福祉に関する研究・情報の収集及び提供並びに啓発・研修事業

【ビジョン】

誰もがいきいきと暮らせるまちになるよう、つながりづくりを中心としたきっかけづくりをする

1) 市民福祉のつどいの開催

尼崎市が主催で1982年から行っている事業「市民福祉のつどい」を提案型事業委託として受託。『ミーツ・ザ・福祉』に名前を変えて、尼崎 ENGAWA 化計画さんと一緒に運営。11/11 に無事開催することができました。

今までの活動の中で一番規模が大きく、かつ、以前から続いているものをリニューアルするということの難しさがありましたが、「いろんな人と一緒に活動していく」ということの意義や大切さ、楽しみを実感できた良い経験になりました。

『ミーツ・ザ・福祉 2017 福祉にであう・福祉とまじわる』

■日 時：2017 年 11 月 11 日（土）10：00～16：00

■場 所：橘公園・橘球場 尼崎市東七松町 1-22

■参加者：約 3,000 人 ■コンセプト：交流に次ぐ交流

■概 要：

ブース出店（62 店舗）・ステージパフォーマンス（10 組、うち公募パフォーマンス 1 件）・レゲエライブ・DJ・ペイントワークショップ・カホンづくりワークショップ・運動会・トークブース e.t.c.

事業目的である「市民が広く障害や障害のある方を理解していくこと」

「障害のある方が様々な分野の活動の場に参画していくこと」達成にむけて、今までの課題を整理。

1. 実行委員会を組織しているが、行政中心の進め方になっていた
2. 出店者・出演者が、ほぼ「福祉関係者」のみ
3. 広報が足りていなかった
4. 「交流」や「体験」の機会が少なかった

メインテーマを「交流に次ぐ交流」として、新しい工夫をしながら取り組みました。

- ① 出入り自由・オープン形式の実行委員会
- ② 「福祉関係者」以外の出店・出演を誘致 *30 店舗⇒60 店舗
- ③ 「福祉イベント」を感じさせないようデザイン・コンテンツの充実
- ④ プロセスも含めた「交流」できるしくみ

①出入り自由・オープン形式の実行委員会

- 5月にワークショップを2回開催 *各回 約40人が参加。
「今までイベントに参加して困ったことは?」「どんなイベントなら行ってみたい?」という2つのテーマで意見交換し、そこで企画運営に関わりたいメンバーを募集しました。
- 年2回程度だった実行委員会⇒月に1回開催 *約100人が参加。
「関わってみたい」と思った人が関わりやすいよう、回数と方法を増やしました。

②「福祉関係者」以外の出店を誘致

- 出店数を約30⇒60 *福祉関係30 その他30
福祉関係以外の出店が増えたことで一般客を呼び込みやすくなりました。また、お客さんはもちろん、出店者間でも、日常かかわることのない人同士の交流が生まれていました。

③「福祉イベント」を感じさせないようデザイン・コンテンツの充実

- 「福祉」「障害」に関心・関わる機会のなかった人に参加してもらうために、オシャレで目を引くデザインのチラシとポスター作成し、広報を充実させました。
また、参加型のコンテンツを充実させ、交流を生むきっかけとして活用しました。
- 印刷部数
チラシ30,000枚 ポスター2,000枚
- メディア掲載・配布場所(主なもの)
・尼崎市内全小学校 ・全コミュニティ掲示板 ・産経新聞 ・神戸新聞 ・尼崎経済新聞
- facebook: いいね数(805件) *当日イベントページの閲覧は3万以上。

④プロセスも含めた「交流」できるしくみ

当日だけでなくプロセスからかかわってもらえるよう、なるべくすべてをオープンにして準備作業を進めました。ボランティア説明会も開催し、前日準備に約30名、当日ボランティアに約80名に関わってもらうことができました。

<アンケート>

- 参加者アンケート 109 ※市内(71)・市外(36) ※初参加(81)

【満足度】8.5 ※10段階評価

【コメント】※抜粋

年齢や背景に関係なくいろんな方と話せた。家族で楽しめた。健常者の人と関われた。障害のある人がイキイキと楽しんでいた。こんなにたくさんの作業所があることを知った。思っていた以上に明るい印象だった。見る側も演じる側も一体感があった。スタッフが活動的だった。福祉と一般がグラデーションになっていた。関わる人がみな笑顔だった。市民も市外の人も混ざっていてよかった。一体となって進めている感じがした。交流の入り口がもっとたくさんあれば。

- 出店者・出演者アンケート

【満足度】 福祉系平均 7.96 一般平均 8.91 ※10段階評価

【福祉系】

例年よりお客さんが多い。一般の出店があって活気がある。ブースが狭かった。ブース同士で交流できた。昨年までのイメージを切り替えられなかった。忙しくてステージや他のブースを見に行けなかった。障害者を理解しておらず福祉のイベントとは思えない。交流できるいい機会になった。交流があまり感じられなかった。以前は福祉系のみでお客さんが少なかった。昨年までは障害者同士のお店やさんごっこのような感じだった。子どもたちの楽しむ姿が見られた。

【一般】

普段関わらない人と関われた。広報力があつた。楽しめた。グラウンドの開放がよかった。ゆるさがよかった。みんなで手づくりした感じが伝わった。導線をもう少しうまくできれば。搬入時に困っている人がいた。あまりミーツ・ザ・福祉できなかった。

2) 多様なネットワークに参加

例年同様「へいわえーなー」「もぐもぐまつり」「クラブ・ラポール」「園田子育て支援連絡会」など、新しい取り組みとして「みとりまちプロジェクト」「事業所等交流会 in 園田」など、様々な実行委員会・地域コミュニティに参加し交流を深めることができました。それと同時に、なかなか例年のように参加できないものもありました。

“活動内容の整理”と、それに合った“内外への情報共有の強化”を年度目標にしていたのですが、ミーツザ福祉に予想以上のボリュームがあり意識的に手をつけることはできなかったものの、実態として使える時間の割合が変化していったので、結果的に整理されていった感じがありました。

3) 軽茶堂の開催

前年に引き続き、年間で企画・運営担当を設定し、広報や準備のタイミングなど具体的な作業をスケジュールリングすることで、業務の負担感をなるべく減らし、より、スムーズな運営ができるよう取り組みました。開催回数自体が減ったことで、参加人数・参加費ともに前年より減少しましたが、定番のメニューが増えたため、必然的に参加者同士も繰り返し会う機会が増えたので、顔や名前がわかる関係ができています。

参加人数合計 319 名 参加費合計 63,800 円

	メニュー	参加人数	参加費
4月	ツキカゼ春のパンまつり・映画おとうと上映会 こどもカレーの会・月イチ現代美術館・詩かくよむ会	34	4,100
5月	こどもとカレーの会・プレゼンの会 書道の会・お笑いの会・詩かくよむの会	40	9,500
6月	ごはんの友の会・詩かくよむの会 書道の会・月イチ現代美術館	28	1,400
7月	オススメ100均グッズの会・かき氷の会・詩かくよむの会 書道の会・ハンサムイングリッシュの会	32	6,800
8月	月風アニメーション学院・詩かくよむ会 ペットボトルで野菜・月イチ現代美術館	35	1,400
9月	書道の会・焼きそばの会 古着アップリサイクルの会・詩かくよむの会	20	9,500
10月&11月 お休み			
12月	書道の会・お好み焼きの会・詩かくよむの会・月イチ美術館	40	9,500
1月	書道の会・新年の会・詩かくよむの会	20	7,500
2月	書道の会・子どもとカレーの会・ハンサムイングリッシュの会 月イチ現代美術館・詩かくよむの会	55	7,100
3月	書道の会・絵を描く会・詩かくよむの会	15	7,000

2017年度 活動計算書(報告書)

2017年04月01日～2018年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金 額		
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	90,000		
受取会費計		90,000	
受取寄付金			
受取寄付金	69,000		
受取寄付金計		69,000	
受取助成金等			
受取地方公共団体補助金			
- 両立支援等助成金	570,000		
- 企業内人材育成助成金	1,800,000		
受取民間助成金			
- 冠婚葬祭文化振興財団	557,000		
受取助成金等計		2,927,000	
事業収益			
居宅介護事業収益			
- 介護給付費	34,234,549		
- 自己負担金	57,304		
移動支援事業収益			
- 地域生活支援給付費	5,251,699		
- 独自派遣料	107,620		
ヘルパー育成事業収益			
- 参加料(イベント/講座等)	150,000		
アート事業収益			
- 参加料(イベント/講座等)	3,000		
ちいきづくり事業収益			
- 参加料(軽茶室)	47,300		
- 参加料(イベント/講座等)	55,920		
- 参加料(ミーツザ福祉)	456,000		
- 市民福祉のつどい委託料	1,919,000		
事業収益計		42,282,392	
その他収益			
受取利息	58		
雑収益	3,026		
その他収益計		3,084	
経常収益合計			45,371,476

2017年度 活動計算書(報告書)

2017年04月01日～2018年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額		
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
役員報酬	3,682,998		
給料手当	21,462,643		
賞与	4,820,520		
法定福利費	4,225,397		
福利厚生費	87,080		
通勤交通費	194,250		
【人件費計】		34,472,888	
【その他費用】			
諸謝金	383,244		
旅費交通費	233,756		
会議費	37,400		
交際費	10,000		
通信運搬費	276,343		
広告宣伝費	777,208		
消耗品費	870,954		
新聞図書費	61,092		
研修費	23,000		
印刷製本費	149,931		
修繕費	2,500		
燃料費	51,592		
保険料	307,600		
水道光熱費	164,260		
支払地代家賃	1,220,400		
諸会費	7,000		
支払手数料	2,447,818		
租税公課	6,600		
減価償却費	438,620		
【その他費用計】		7,469,318	
事業費計		41,942,206	
運営費			
【人件費】			
役員報酬	193,842		
給料手当	1,322,220		
賞与	270,000		
【人件費計】		1,786,062	
【その他費用】			
旅費交通費	10,450		
通信運搬費	10,438		
印刷製本費	15,828		
水道光熱費	18,251		
支払地代家賃	135,600		
支払手数料	812,584		
雑損失	47,000		
【その他費用計】		1,050,151	
運営費計		2,836,213	
経常費用合計			44,778,419
当期経常増減額			593,057
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計			0
(2)経常外費用			
経常外費用合計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			593,057
法人税、住民税及び事業税	82,000		
当期正味財産増減額			511,057
前期繰越正味財産額			8,081,872
次期繰越正味財産額			8,592,929

2017年度 貸借対照表

2018年3月31日現在

特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
現金	141,767		
普通預金	6,228,527		
未収金	6,273,567		
流動資産合計		12,643,861	
固定資産			
建物付属設備	366,251		
車両運搬具	1		
リサイクル預託金	8,070		
固定資産合計		374,322	
資産合計			13,018,183
負債の部			
流動負債			
未払金	3,419,914		
預り金	1,005,340		
流動負債合計		4,425,254	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			4,425,254
正味財産の部			
前期繰越正味財産		8,081,872	
当期正味財産増減額		511,057	
正味財産合計			8,592,929
負債及び正味財産合計			13,018,183

2017年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2018年3月31日現在

特定非営利活動法人 月と風と

(円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金		141,767		
普通預金		6,228,527		
--近畿労働金庫		6,224,436		
--ゆうちょ銀行		293		
--振替口座		3,798		
未収金		6,273,567		
--介護給付費		5,392,545		
--尼崎市(移動)		706,388		
--西宮市(移動)		22,788		
--自己負担金		73,600		
--独自派遣		26,430		
--会費		12,000		
--他		39,816		
流動資産合計			12,643,861	
固定資産				
建物付属設備		366,251		
車両運搬具		1		
リサイクル預託金		8,070		
固定資産合計			374,322	
資産合計				13,018,183
負債の部				
流動負債				
未払金		3,419,914		
--給料・交通費		1,816,895		
--社会保険料		520,786		
--諸経費		1,082,233		
預り金		1,005,340		
--源泉所得税(給与)		148,293		
--住民税		72,500		
--社会保険料		784,547		
流動負債合計			4,425,254	
固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				4,425,254
正味財産合計				8,592,929

計算書類の注記

特定非営利活動法人 月と風と

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	居宅介護・移動支援事業費	ヘルパー育成事業費	おふろ事業費	アート事業費	ちいきづくり事業費	事業共通経費	事業費計	管理費計	合計
(1) 人件費									
役員報酬	2,519,946	0	0	0	0	1,163,052	3,682,998	193,842	3,876,840
給料手当	14,914,948	48,845	0	0	0	6,498,850	21,462,643	1,322,220	22,784,863
賞与	3,075,780	0	0	0	0	1,744,740	4,820,520	270,000	5,090,520
法定福利費	0	0	0	0	0	4,225,397	4,225,397	0	4,225,397
福利厚生費	87,080	0	0	0	0	0	87,080	0	87,080
通勤交通費	0	0	0	0	0	194,250	194,250	0	194,250
【人件費計】	20,597,754	48,845	0	0	0	13,826,289	34,472,888	1,786,062	36,258,950
(2) その他費用									
諸謝金	0	97,000	0	0	256,244	30,000	383,244	0	383,244
旅費交通費	105,472	6,570	1,000	97,560	15,714	7,440	233,756	10,450	244,206
会議費	0	0	0	4,956	11,508	20,936	37,400	0	37,400
交際費	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0	10,000
通信運搬費	68,802	1,681	0	0	52,920	152,940	276,343	10,438	286,781
広告宣伝費	0	0	0	80,298	196,910	500,000	777,208	0	777,208
消耗品費	2,436	1,466	7,025	196,115	319,061	344,851	870,954	0	870,954
新聞図書費	0	48,600	0	0	0	12,492	61,092	0	61,092
研修費	1,000	16,500	0	0	5,500	0	23,000	0	23,000
印刷製本費	31,656	0	0	0	7,480	110,795	149,931	15,828	165,759
修繕費	2,500	0	0	0	0	0	2,500	0	2,500
燃料費	46,278	0	533	2,683	2,098	0	51,592	0	51,592
保険料	300,810	0	0	0	6,790	0	307,600	0	307,600
水道光熱費	36,502	0	0	0	0	127,758	164,260	18,251	182,511
支払地代家賃	271,200	0	0	0	0	949,200	1,220,400	135,600	1,356,000
諸会費	0	0	0	0	7,000	0	7,000	0	7,000
支払手数料	24,060	864	2,000	100,864	2,233,829	86,201	2,447,818	812,584	3,260,402
租税公課	6,600	0	0	0	0	0	6,600	0	6,600
減価償却費	0	0	0	0	0	438,620	438,620	0	438,620
雑損失	0	0	0	0	0	0	0	47,000	47,000
【その他費用計】	897,316	172,681	10,558	482,476	3,115,054	2,791,233	7,469,318	1,050,151	8,519,469
合計	21,495,070	221,526	10,558	482,476	3,115,054	16,617,522	41,942,206	2,836,213	44,778,419

* 当法人は、複数の事業に係る経費が発生した際、法人の方針により一部の経費を「事業共通経費」としています。

3 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は8,592,929円であり、年度末に使途等が制約された正味財産はありません。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
両立支援等助成金	0	570,000	570,000	0	職員の人件費として使用
企業内人材育成助成金	0	1,800,000	1,800,000	0	職員の人件費として使用
社会貢献基金助成	0	557,000	557,000	0	アート事業にかかる費用として使用
合 計	0	2,927,000	2,927,000	0	

4 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	422,434	0	0	422,434	56,183	366,251
福祉車両	264,438	0	0	264,438	264,437	1
什器備品	0	118,000	0	118,000	118,000	0
投資その他の資産						
リサイクル預託金	8,070	0	0	8,070	0	8,070
合 計	694,942	118,000	0	812,942	438,620	374,322